

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、日本証券業協会の調査報告書を参考にしている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式により処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000			10,000,000
投資有価証券	20,000,000			20,000,000
文学資料	4,677,628			4,677,628
小 計	34,677,628	0	0	34,677,628
特定資産				
管理運営積立資産	66,327,948	468,004		66,795,952
事業振興基金	8,700,000	4,500,000	3,700,000	9,500,000
小 計	75,027,948	4,968,004	3,700,000	76,295,952
合 計	109,705,576	4,968,004	3,700,000	110,973,580

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	10,000,000		
投資有価証券	20,000,000	20,000,000		
文学資料	4,677,628		4,677,628	
小 計	34,677,628	30,000,000	4,677,628	0
特定資産				
管理運営積立資産	66,795,952		66,795,952	
事業振興基金	9,500,000		9,500,000	
小 計	76,295,952	0	76,295,952	0
合 計	110,973,580	30,000,000	80,973,580	0

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債券の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	3,350	0	3,350
合 計	3,350	0	3,350

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
北海道令和5年度第5回公募公債(5年)	20,000,000	19,422,000	△ 578,000
合 計	20,000,000	19,422,000	△ 578,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取負担金						
北海道負担金	北海道	0	159,312,000	159,312,000	0	-
受取補助金						
受取国庫補助金	国	0	0	0	0	-
合 計		0	159,312,000	159,312,000	0	

7. その他

公益法人会計基準(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に準拠して決算書を作成している。